

「全国地域づくり人財塾」@JIAM

資料1-1

開催日時・会場

令和元年5月8(水)～10日(金) 全国市町村国際文化研修所

参加者の状況

参加者数 37名(自治体職員29名、その他8名) 定員:50名

研修概要

- 人材力活性化研究会構成員が実践事例を基に研修及び直接対話を実施
- 外部講師 齋藤 潤一氏(一般財団法人こゆ地域づくり推進機構代表理事)
高橋 邦男氏(一般社団法人こゆ地域づくり推進機構事務局長)
- 事例報告者 高橋 浩樹氏(北海道岩見沢市)
伏喜 マリエ氏(富山県氷見市)

受講生の声(アンケートより抜粋)

- グループ分けが毎日異なりほぼ全員と話ができて良かった。既受講者からの報告が具体性が表れていて非常に良かった。
- グループトークについて。その日に学んだことはその日のうちに発表できると更に深まって良いと思った。グループで話し合う時間を設けていただいたことで、いろんな方と話すことができました。ありがとうございました。
- 3日間という期間はあまりに短く、せめて5日間ぐらいはほしかったです。また、ワークショップなどで受講生間のコミュニケーションを取れる仕掛けもほしかったです。
- 振り返りのグループトークの時間をもう少し取っていただけたら良かったと思います。
- グループワークの時間がもう少しあってほしいです。(その日の振り返りにも+受講生の話を聴く時間にもなるので。)講師の先生方のパワフルさに圧倒されながらも、皆様に共通することは場づくりであることができました。3日間ありがとうございました。
- 施策に反映させるためには理論の裏付けが必要。行政側の視点も踏まえた事例紹介は参考になりました。行動宣言は、全体発表より、グループ内で発表した方が良いように思いました。
- 講師の方たち、参加者も大変素晴らしく、これからの自分の考えに対して大変刺激を受けた。もう少し講師や参加者と意見交換したかった。研修内容に対して日程が短いと感じた。このような研修を継続してほしい。

